

令和6年度 江南区組織目標

組織名	江南区	区長	坂井 玲子
組織の目的・方向性	「区ビジョン基本方針」に掲げた区の将来像である「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を実現するため、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

江南区組織目標

江南区では、新潟市総合計画 2030 及び江南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる区の将来像「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」の実現に向けて、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 令和6年能登半島地震の振り返りを行ったうえで、大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。
- 2 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。
- 3 歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。
- 4 就職が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や工賃増額への取り組みを促進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	1 能登半島地震を踏まえ、区内全自治会長を対象としたアンケートの実施や、被害が大きかった曽野木地区において住民主体のワークショップを行うなど、震災対応の振り返りを行いました。また、例年実施している防災訓練の実施支援やジュニアレスキュー隊育成講習会に加え、発災直後における行動チェックシートの作成と避難所運営訓練を実施し、地域防災力の向上に努めました。 2 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用が図られるよう、都市計画区域の見直しを進めるため、北陸農政局などの関係機関と協議を行いました。 3 タペストリーの設置、亀田縞と区の魅力を発信する情報紙発行、製品開発や他分野との連携など亀田縞の新たな利活用を促進する事業の実施、にいがた2Kmの企業と連携した若年層向けの2ndラインの新たな立ち上げなど、認知度向上や活用推進に向けた取り組みを進めました。				

	4 目標の達成に向けて、商・農業者と障がい事業所による連携を推進し、野菜の収穫作業や商品のシール貼りなどの新たな作業の受注につながりました。また、魅力ある授産品として藤五郎梅干しの開発を行い、イベント等を通じて販売することができました。
今後の方向性	1 防災訓練の実施支援等を通して、地域防災力の向上を図ります。 2 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図るため、都市計画区域の見直しを進めます。 3 亀田縞の認知度向上や活用促進に取り組むとともに、令和6年度の「にいがた2km事業」により立ち上げた2ndラインの拡張に向けた取り組みを進め、さらなる認知度向上を図ります。 4 商・農業者との連携を強化し、マッチングを促進させ、新たな成約につなげるとともに、魅力ある授産品の開発とプロモーションに取り組み、工賃の増額を図ります。